

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	青少年健全育成催事事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'01	1いのちを大切に作る心を持ち、社会性や規範意識を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	青少年	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 青少年(育成)団体】		
目的・目標		事業の概要	
明日を担う青少年が心身ともに健やかに育成されています。		青少年が健やかに成長していくため、親や地域の大人、あるいは青少年同士が交流を深めるとともに、青少年の日頃の活動に対する発表の機会や活躍の場となる各種イベントを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	子ども大会開催地区数			単位	地区
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	28	28	28	28	
	実績	28	28	28		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	子ども大会参加率			単位	%
	説明・算定式	市内全児童数に対する参加児童数の割合				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	50	50	50	50	
	実績	46.8	44.7	44.6		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
<p>青少年の健全育成や青少年団体の交流と連携を目的として、成人式・子ども大会・浅間祭・青少年健全育成のつどい・青少年会館自主事業・青少年交流体験事業を開催しました。また、成人式や青少年健全育成のつどいについては、地元企業の協賛を募るなど新たな取り組みをしました。</p>						
平成25年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	青少年催事は、市民を加えた実行委員会が企画し、運営のほとんどを市民協働で行っています。青少年健全育成を求める社会的要求や、市民に活動・活躍の場を提供する等の観点で、十分必要性があります。	● 高 ○ 低
	有効性 <input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	次世代育成に有効である上、市民協働による本事業の運営は、サービスする側・される側の両面で、市民満足度の向上につながっていることから、有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	事業の企画運営に青少年を参加させることで健全育成が実現されている上、青少年をはじめとする市民の参加意識の醸成が図られている点から、事業の目的・対象・内容について十分に妥当性があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性 <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民協働や実行委員会委託を活用することで、行政の関与が最小限に抑えられており、効率的な運営が図られています。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 今後も市民協働という形で実施を継続していくため、協働する市民の意見を反映した内容になるように心がけることが必要です。			

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		各種イベントの実施	各種イベントの実施	各種イベントの実施	各種イベントの実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	8,415	7,580	7,011	7,037
事業費 (A)		8,415	7,580	7,011	7,037
執行率 (%)		96.27	98.72	99.63	
内訳	職員 (人)	1.44	1.50	1.50	1.55
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		11,670	12,023	11,922	12,111
フルコスト (A+B)		20,085	19,603	18,933	19,148

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 基本的に市民協働・市民参画を取り入れた事業であるので、より多くの市民に積極的に運営に参加してもらえるようPRを進めます。
課長コメント 各事業とも市民から好評を得ていますが、各事業の内容がマンネリ化しないよう実行委員会の中でも十分に意見交換を行い、市民ニーズを的確に捉え、市民との協働による事業を現状規模で行っていきます。